

ドイツ・オーストリア式 クラリネットの集い

HOLZの会

第5回演奏会・試奏会

日時:2010年3月13日(土)

12:30開場、ドイツ・オーストリア式クラリネット試奏会

13:45開演

会場:仙川アヴェニュー・ホール“ve quanto ho.....”

(京王線仙川駅より徒歩2分)

曲目:J・シュトラウス:ワルツ「春の声」

ドヴォルザーク:管楽セレナーデ ほか

問合せ先:ホルツの会「尾原」 Tel 080-1054-6427

http://holz.fureai.or.jp/HOLZ_TOP.htm e-mail : s-endo@fureai.or.jp

「ホルツの会」紹介

「HOLZの会」は、ドイツ・オーストリア系のクラリネットとその音色を愛好するアマチュアクラリネット奏者同士が、情報交換やアンサンブルを楽しむことを目的として、北爪利世先生（2004年ご逝去）を名誉会長、小林利彰先生（東京交響楽団所属）を会長にお迎えして1996年11月に結成されました。現在の会員数は、国内外のプロ・アマチュアを含めて約70名です。

クラリネットの世界には、大きく分けて「フランス流」と「ドイツ・オーストリア流」があります。過去に比べれば、クラリネットの世界も随分とインターナショナルになって来たようですが、それでも楽器のシステム・奏法・音色の好みなどで、いまだに厳然とした違いが存在しているのです。

フランス流の明るく華やかな音色に比べ、ドイツ・オーストリア派は穏やかで温かみのある音色を身上としています。世界でも97%のクラリネット奏者がフランス式のクラリネットを吹いていると言われ、日本でもフランス流が主流を占めているのですが、その中でごくわずかながらこのドイツ・オーストリア流の音色に魅せられてしまったクラリネット吹きたちが棲息しているのです。

この人たちは、少数派であるために、所属するオーケストラやブラスバンドのクラリネット・パートの仲間ともなかなか話が合わず、また楽器やリードに関する情報も極めて少なく、孤独な毎日を送っておりました。そんな鬱々とした毎日一条の光明がさしたのが、1996年の初冬でした。WienのPeter Schmid教授にクラリネットを学んで来られた小林利彰先生が、そんなクラリネット吹きたちに交流の場を提供する為に、ドイツ・オーストリア系のクラリネットとその音色を愛する人たちの親睦会を提案され、関係者の絶大なる熱意により「Holzの会」が発足するに至りました。会の名称には「木」を意味するHolzというドイツ語を採用して、「ドイツ語圏のクラリネット」と「木の温かみの音色」というほどの意味合いを持たせています。

会場案内
仙川アヴェニューホール
 “ve quanto ho.....”
 東京都調布市仙川町1-25-2
 仙川アヴェニュー北プラザ2F
 TEL 03-3305-5269
 京王線仙川駅より徒歩2分



現在「HOLZの会」は毎月1回の例会を開催し、ドイツ・オーストリア管によるアンサンブルや楽器情報の交換などを中心とし、楽しく活動しています。また、東京を本部として、国内各地にも会員を擁し、加えてウィーンフィル、ベルリンフィルをはじめとする、ドイツ・オーストリア管を演奏する各国のプロ奏者にも名誉会員になっていただき、Wien・Berlin・Karlsruhe・Bamberg・Hamburg・Nordhausen等にも支部を構えています。機会をとらえてこれらの海外支部との交流活動を催して

いるほか、1998年にはウィーンでのKurt Schmidt教授の夏期講習会に参加、2006年にはドレスデン、2008年にはバンベルクに遠征し、現地のドイツ・クラリネット協会のメンバーと共に演奏を行いました。

会員諸氏が現在所有しているドイツ・オーストリア系の楽器の種類は、コントラバスクラリネット・バスクラリネット・パセツホルンからA・B・C・D・Es・Gと多種にわたっています。また、それらの楽器の製作者はOskar Oehler・Ludwig Warschewski・Franz Koktan・Clemens Meinel・Gustav Moltenhauer・Gustav Graessel・F.A.Uebel・Oskar Neidhardt・Fritz Wurlitzer・Herbert Wurlitzer・Karl Hammerschmidt・Otmar Hammerschmidt・Frank Hammerschmidt・Lothar Reidel・Oscar Adler・Schwenk u. Seggelke・Yamaha など過去から現代の多岐にわたっています。演奏会当日はそれらの楽器の一部を展示して皆様に試奏していただく企画も準備して居ります。

今回の演奏会は、2003年の第4回演奏会以来の久々の開催となります。技術面はさておき、ドイツ・オーストリア式クラリネットの豊かな響きをご堪能いただくべく練習を重ねてまいりました。ドイツ・オーストリア系の楽器に関心をお持ちの皆様方のご来場を、会員一同心よりお待ち申し上げております。

「Holzの会」代表
金子理志

HERBERT WURLITZER
HERBERT WURLITZER 1848-1914
 歴々に守る名譽の伝統とクラフトマンシップの集大成。H-ヴァリッファー・クラリネット

Hammerschmidt
WATERS - AUSTRIA
 ウィーンフィル・クラリネットセクションが古くから愛用し続ける。ウィーンタイプ・クラリネットの最高峰

L. Rossi
 世界でもほとんど無いオーダーメイドによる最高級ハンドメイドクラリネット。L.ROSSI

一流メーカーによる高品質なクラリネットの数々——
 専門店のイシモリならお気に入りの一本が見つかります

クラリネットをお探しなら、ぜひ石森音楽器へどうぞ。国内では当店でしか手に入りくい、珍しいメーカー、クラリネットが充実の品揃え。世界の一流プレーヤーも認める逸品を、確かな品質でお届けします。

ご賞のメーカーに関する詳細は、日本総輸入代理店の(株)石森音楽器までお気軽にお問合せ下さい。

この他、ピッコポ・クラリネット、ピッコポ・ヤマハのフランス管も豊富に取り揃えております。

SCHWENK-SEGSELKE
 響き・音色・造形、どれをとっても理想的な。世界が注目するドイツクラリネットの創し者。E. シュヴェンク & セゲルケ

LEITNER & KRAUS
 元ヴァリッファーの30年産の職人。J. Leitner氏とW. Kraus氏によるハンドメイド・クラリネット工房

Wolfgang Dietz
 元ヴァリッファー職人。W. Dietz氏率いる1989年創業のドイツ最高級クラリネット工房

ISHIMORI 株式会社 石森音楽器 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-23
 TEL.03-3360-4970 ●●●● FAX.03-3360-4590
 HomePage: <http://www.ishimori-co.com> e-mail: info@ishimori-co.com